



<http://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

平成19年8月



ブルーベリー(旧・蘇陽町)



## ■今号16ページ主な内容

- 第6回通常総代会
- 各生産部会で総会・出荷査定会
- 夏秋野菜出荷最盛期へ
- 「くまもとあぐりん」取材ほか

## ▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

## 『JA活動総合3カ年計画』など承認 コンプライアンスの更なる徹底も



総代会の様子(写真内は丸山組合長)

JA阿蘇第6回通常総代会が6月28日午前9時から、総代(書面決議含む)をはじめ、来賓、JA阿蘇役員ら多数が出席して阿蘇体育館で開催されました。

開会後まず丸山信義組合長が「農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあるが、食と農を結ぶ活力あるJAづくりを基に策定されたJA活動総合3カ年計画、品目横断的経営安定対策による担い手の育成、集落営農組織化に全力をあげて取り

河内議長(写真右)と総代の方々(写真下)



組み、またJA組織内のコンプライアンス(法令順守)にも更なる徹底を図りたい」と決意を述べました。続いて来賓祝辞、出席人員報告後、議長に河内健雄さん(白水中央支所総代)を選任し議事に移りました。議事では提出された「第1号議案」平成18年度事業報告及び剰余金処分案について、「報告事項」平成18年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について、「第2号議案」平成19年度事業計画及び関連事項について、「第3号議案」定款、定款附属書役員選任規程及

び定款附属書総代選挙規程の変更について、「第4号議案」規約、農業倉庫業務規程、宅地等供給事業実施規程及び監事監査規程の改正について、「第5号議案」JA活動総合3カ年計画の設定について等に、執行部からそれぞれ提案説明及び質疑応答があり審議が行われた結果、全ての議案が多数で承認されました。

### 営農、共済契約、永年勤続者を表彰

6月28日、総代会に先立ち、平成18年度表彰が阿蘇体育館で行われ、丸山組合長から各関係者に賞状と記念品が贈られました。(敬称略)

### ■営農関係者

農産(米)	佐藤 久康	(南部営農センター管内)
農産(麦・大豆)	佐藤 敬治	(中部営農センター管内)
園芸(大根)	矢野 隆一	(小国郷営農センター管内)
園芸(トマト)	村上 照義	(中部営農センター管内)
園芸(花)	宇藤 康博	(南部営農センター管内)
畜産(肉用牛)	中島 一喜	(小国郷営農センター管内)
畜産(肉牛肥育)	中野 経剛	(中部営農センター管内)
畜産(繁殖牛)	渡辺 和徳	(南部営農センター管内)

### ■共済契約高額者

今村 健正	(久木野中央支所管内)
曾我 勝徳	(西原中央支所管内)

### ■永年勤続者(職員)

30年	今村 弘文	(南部営農センター)	20年	杉田 芳信	(小国郷営農センター)
	興梠 壽一	(高森中央支所)		荒木 伸一	(中部営農センター)
	津留 浩寿	(白水中央支所)		阿部 ルミ	(阿蘇町中央支所)
	川元 博美	(南部営農センター)		井 俊治	(一の宮車輛センター)
	山内 美幸	(阿蘇町中央支所)		河津美智枝	(小国郷中央支所)
	森 英三	(阿蘇町中央支所)		中嶋しおみ	(阿蘇町中央支所)
	都 信一	(高森中央支所)		伊藤 照行	(金融共済部)
	清原 陽一	(阿蘇町中央支所)		金丸 美和	(小国郷中央支所)
				酒井ゆかり	(西原中央支所)
				井 幸美	(一の宮中央支所)



写真は営農関係者表彰

# 元気はつらつ!まだまだ若いもんには負けられん!

## 通常総会

「やうに足腰の強い連盟に」  
農林年金受給者連盟阿蘇支部



岩下支部長のあいさつ



通常総会の様子

農林年金受給者連盟阿蘇支部は6月25日、一の宮町で第31回通常総会を開き、会員57人が出席し議案を全会一致で承認しました。

総会にあたり岩下政秋支部長が「年金問題が取り上げられている中、我々は受給者相互の連携を強め足腰の強い連盟にしよう」と述べ、来賓の

丸山信義組合長は「年金振り込み額はJA阿蘇の貴重な財源。これからも元気で地域振興に貢献してほしい」とあいさつしました。

総会終了後、年金相談員の岡本正憲さんが「農林年金をめぐる情勢」というテーマで、公的年金制度の概要や特例年金制度について講演を行いました。また、07年度慶祝の表彰が行われ、米寿5人と喜寿10人に表彰状と記念品が贈られました。



慶祝表彰の方々

## 「健康増進で親善を図ろう」

JA阿蘇年金友の会

JA阿蘇年金友の会は7月18日、一の宮町で2006年度通常総会を開き役員や事務局ら32人が参加しました。総会では井上恵会長が「会

員を増やし、会員相互の親睦を深めよう」とあいさつ。来賓として参加したJA阿蘇の原山輝義常務は「JAの信用事業に貢献され感謝します。今後、増々お元気で活躍されることを期待します」と祝辞を述べました。

議事では06年度事業報告及び収支決算と07年度事業計画及び収支予算(案)について審議がされ承認されました。07年度の事業としては、県年金友の会ゴルフ大会を計画の予選を兼ねたJA阿蘇ゲートボール・グランドゴルフ大会を計画しています。また総会に先立ち長年会長を務めた小島信忠さん(阿蘇町)の功労者表彰が行われました。



JA阿蘇年金友の会総会の様子

## 国際園芸博覧会で銀賞受賞

JA阿蘇白水花卉共販部会



白水花卉共販部会は、昨年から今年初めにかけて開催された「チエンマイ国際園芸博覧会」で銀賞を受賞し、その表彰状及びメダルが7月2日、南部営農センター内にある事務局へ届きました。

同博覧会は人類への愛をテーマに、タイ王国在位60年及び生誕80年の祝賀記念として開催されたものです。JA阿蘇からは、14年間トルコキキヨウを中心として栽培している田上成雄さんらが出品した数点の中から2点が銀賞を受賞しました。事務局担当者は「今回の受賞は大変光栄なもので、他の生産者への励みにもなる」と喜んでいきます。

写真：表彰状とメダルを持つ事務局担当者

# トマト出荷、中部・南部合わせ15億5000万円を見込む

いかがひすーおごころトマト  
阿蘇高原夏秋トマト出荷最盛期へ

## 阿蘇中部トマト部会



阿蘇野菜選果場では特産トマトの出荷が始まっています。2007年度は4月下旬から定植が始まり、天候にも恵まれ、生産者の努力により順調に生育しています。JA阿蘇の中でも上位の作付面積を誇る夏秋トマト。寒暖の差があるため、肥培管理が難しいと言われていますが、食味は申し分ありません！

阿蘇中部トマト部会は、部会員147人で、出荷量3100t（4kg箱入り77万ケース）、販売高9億3000万円を計画しています。

出荷は6月中旬から11月中旬頃までとなっており、生育良好のトマトを見て販売担当の松田職員は「自信を持って販売していきたい！」と語っていました。

## 阿蘇南部トマト部会

南部営農センターの南部集出荷貯蔵施設（野菜センター）では、6月18日よりトマトの選果、出荷が始まっています。当日は初選果ということもあり、選果台で作業するパートさんを集めて、担当職員より規格の説明・目揃え会が行われました。南部トマト部会では、トマトの均一化を図るために定期的に目揃え会を行い、安定した出荷を目指しています。担当職員の中川慎一指導販売係は「今年は、現在まで生育も問題なく玉肥大も良好。甘みもあり自信を持って美味しいトマトを出荷できる」と、販売高6億2000万円に向けて意気込みを語っていました。

同施設は2005年に新設され、カラーセンサー付きの選果機を導入しており、高度な選果・規格の均一化による高品質な出荷で年々市場評価が高まっています。



「安全安心の美味しう  
トマトを消費者へ」  
南部トマト部会出荷査定会  
目標販売高6億2000万円

目標販売高6億2000万円

JA阿蘇南部トマト部会は6月5日、07年度出荷査定会を南阿蘇村で行いました。当日は、生産者や県町村関係者、市場関係者、JA関係者ら約140人が参加しました。

後藤義文部長は「この産地にも負けない高品質のトマトを作り、安全安心の美味しいトマトを消費者へ届けたい」とあいさつしました。今年の定植は、4月中旬から始まっており7月上旬まで予定されています。定植時期を早めから遅い時期まですることにより、9月と10月にも安定した出荷数量が可能となっています。

同部会では各圃場ごとに土壌分析を行い、その結果に応じて必要な量だけを施肥することで無駄なコストがかからないようにしています。また、07年度より出荷市場を14社から9社へ集約しており、各市場へ期間を通して安定出荷できるようにしていく計画です。



「糖度の度を目指しつ  
がんばらひつ」  
小国郷大根部会春期査定会

小国郷大根部会春期査定会

JA阿蘇は6月1日、小国郷営農センターで小国郷大根部会の春期査定会を開き、関係者や生産者40人が出席しました。査定会では選果選別を確認し、出荷計画・販売計画を担当者が説明しました。2007年は、30人の生産者が125haを栽培。12月までに九州管内の市場を中心に6045tの出荷を計画しています。

高村夏規小国郷大根部会長は「安心・安全はあたりまえ。今後は、大根の味「糖度8度」を目指してがんばろう」とあいさつしました。



## 地域農業戦略でブランド確立を 野尻園芸総合部会総会

新支部長に後藤幸男さん



「元気ある地域農業を行いたい」と新役員のおさん

野尻園芸総合部会の2006年度総会が6月8日、野尻支所で開かれ、部会員や市場関係者、JA関係者ら約50人が参加しました。

総会では鶴林支部長が「部会員の高齢化、後継者不足、収益減収といくつかの課題も出てきているが、地域が一つとなってブランドを確立していこう」とあいさつ。また、丸山信義組合長からは「異常気象が環境変化の中で、生産者とJAが協力し他の産地に負けない品物を

作ってください」と祝辞を述べました。

議事は、第1号議案から第5号議案まで審議され承認されました。役員改選により次の方々（敬称略）が新役員に選出されました。

支部長＝後藤幸男、副支部長＝瀬井幸夫、監事＝後藤次利・白石福男  
会計＝佐藤敏美

## 有利販売へ向け 18億円の販売高を目指す 中部夏野菜取引会議

阿蘇中部園芸部会は6月12日、2007年度夏野菜取引会議を阿蘇市で開き、各部会役員や行政、市場、JA関係者ら70人が参加しました。

室治夫部会長は「生産者の所得



意見をまとめる室部会長

向上を目標とし、安心安全な農産物の生産、共販体制の強化、連携を図り、安定供給に努める」とあいさつ。続いて、本年産の基本対策や生産状況、出荷計画など4項目を協議。生産販売体制を強化し市場と連携を図り、有利販売を目指すことを確認しました。

そして、トマト、ミニトマト、胡瓜、アスパラなどの作柄概況が各指導員より報告があり、意見交換が行われました。部会役員の質問では「安定供給は約束するので、単価に反映してほしい」などの意見が多く出されました。

中部園芸部会では10品目を生産し、18億円の販売高を目指しています。

## 16億円を目標に販売展開 小国郷野菜・花き生産出荷協議会

小国郷営農センター園芸部会（高村夏規部会長ほか5887人）では、市場関係者19人、生産者代表者40人に阿蘇地域振興局・小国町・南小国町関係者等を交えて6月12日、小国郷情報企画センターでこれから本格的な出荷が始まる夏野菜・花き等の出荷協議会を開きました。

参加者による各農作物の圃場巡回後、2007年度の生産指導・販

売方針と作柄状況等が報告され、その後、市場より情勢報告と販売取り組みについての説明が行われました。

本年度の販売計画として主な生産部会10部会、588人で販売取り扱い目標金額16億円を目指し販売展開を図っていく予定です。

また協議会では、まるごと阿蘇の産地ブランド向上を目指して、武田健AMレ農業経営研究所長による講演も行われ、安心・安全の具体的対策方法として土壌分析の実行は不可欠であり、地域ブランドの二層の向上を図る上から、土壌分析への取り組み強化を認識しました。



多くの関係者が参加し開かれた出荷協議会

## 各生産部会で出荷査定会開く

### 選果強化で品質統一を JA阿蘇ブルーベリー部会



「甘く、美味しいブルーベリーを」と挨拶する佐藤部会長

蘇陽中央支所では6月20日、2007年度ブルーベリー出荷査定会を開き、生産者・JA関係者ら約50人が参加しました。

佐藤和也部会長が「今年度は新規契約先もあるので、異物混入などがないようにさらに気をつけて、甘く美味しいブルーベリーを消費者へ届けたい」とあいさつ。その後、担当職員より今年度の出荷規格、出荷時の注意事項などの説明が行われました。部会では昨年より良い品物を生産するために、等級の基準値に満たないものは全量返品とすることを決めています。部会がある蘇陽地区は標高が600m以上あり、

ブルーベリーを栽培するのに最適地で、特産品としても有名となつていきます。今年度は50tの出荷を予定しており、青果としてやゼリーの原料など加工用向けにも出荷されます。

### 露地キュウリ出荷目前に査定会 販売目標3億4000万円めざす

#### 小国郷胡瓜部会

JA阿蘇小国郷胡瓜部会は7月10日、露地キュウリの本格出荷を目前に控え、出荷規格査定会を小国郷情報企画センターで開き、生産者や市場・JA関係者ら80人が参加しました。JA指導担当者が等級選別と出荷方法などを説明し、穴井部会長は「栽培方法を強化し、品質向上・安定出荷に向けて頑張ろう」とあいさつしました。

07年度出荷は、春先の寒冷の影響で昨年より約10日遅れ、7月下旬から9月下旬に掛けてピークとなり、出荷計画26万ケース、販売目標3億4000万円を目指しています。



### 細かな対応できる産地作りへ 南部イチゴ部会総会

#### 新部会長に村上豊彦さん



JA阿蘇南部苺部会は7月12日、2006年度産イチゴの出荷反省会及び総会を南阿蘇村で行い、生産者ら約60人が参加しました。

総会に先立ち、優良者表彰が行われ、今年度は8名が表彰されました。また、総会では06年度事業報告など5議案が承認、可決されました。

市場関係者からは「年内の需要期は他の産地に負けないイチゴで阿蘇は評価が高かった。今年はさらに飛躍して欲しい。また、他産地の残

留農業基準値オーバーの際に、仲卸から対応を求められたが、一番に安全宣言の証明ができたのは阿蘇だったので、これからも細かな対応ができる部会であつて欲しい」と話がありました。

役員改選も行われ、新部会長に村上豊彦さんが選出され、「品種変更などもあり、ここ数年が一番頑張らなければならない時期ではないかと思う。生産者は少ないが他の産地に負けないよう一丸となって頑張ります」と抱負を語っていました。なお、他の役員の方々（敬称略）は以下の通りです。

▽副部会長＝山辺達也、▽会計＝島田豊、  
▽監事＝江藤誠・後藤立也  
（写真は抱負を語る村上豊彦部会長・右端）

### 特産目指す「小国郷ニンニク」

小国郷営農センターでは新規作物としてニンニクの栽培を行っています。07年度は約8tの出荷を計画。ホワイト6片と嘉定種の2品種を栽培し、7月中旬より出荷されています。本年度が初めての栽培で試行錯誤の毎日ですが、「小国郷を代表する作物にしたい」と生産農家は張り切っています。

（写真は7ページに掲載しています）

## 漬物の消費拡大に期待…!

### 加工用大根の生育が上々 南部営農センター管内

南部営農センター管内では、加工用大根の収穫・出荷が最盛期になっています。6月18日、同営農センター管内の主力の産地である高森地区では、早朝より4月に播種した大根の収穫が行われています。加工大根部会では、6haの作付けをしており、品種は「北二」「四月早生」が主力です。年2回の収穫期間に分けて収穫し、福岡県内の加工業者へ契約販売しています。

一時は、高森町の特産品として伸びていましたが、食の変化により漬物の消費低下が業者の減少や、作付面積の減少につながっているというところで、同部会の栽培面積・人数もここ数年で大幅に減少しました。



しかし、南部営農センターの川元博美園芸課長は「世代に関係なく、もつと若い人が漬物を食べれば生産も拡大できる」と、今後の消費拡大に期待を寄せていました。  
(写真は品質をチェックする職員)

### 色見スイカ生育順調 8月中旬が出荷最盛期に



「色見スイカ」の生育調査をする職員

J A阿蘇高森スイカ部会で生産する色見スイカの生育調査が6月19日行われました。当日はJ Aの担当職員が生産者のハウスを回り、現在の生育状況・玉の状態などを調査しました。

同部会のスイカは、ほとんどのスイカ産地の出荷が終わりになる8月中旬が出荷最盛期となり、玉肥大

もよく糖度も14度と高く、「色見スイカ」として地元では有名です。しかし、年々生産者や作付面積の減少により希少価値の高いスイカとなつていきます。担当職員は「昨年度も市場への流通はほとんどなく、直売による販売で品物がなくなつた。リピーターも多く、それらの人に今年も自信を持って届けられる生育状況」と話しています。

### 新茶の即売会「大盛況」 J A阿蘇小国郷営農センター

小国郷営農センター製茶工場では6月20日、新茶の即売会を実施しました。会場には新茶を買い求めるたくさんの人たちが押し寄せ賑わいをみせました。

今年の一番茶は春先の低温や晩霜などの影響で、昨年比1割減の約37tの出荷となりました。小国郷営農センター農産課の河津浩課長は「収量は少なかったが、品質としては、昨年よりも良い出来映えです。J Aの小国郷中央支所や関連施設でも販売しているので是非、お求めください」とPRに努めていました。  
(写真下：大盛況となった新茶の即売会)



「小国郷ニンニク」を  
よろしく!

(小国郷ニンニク記事は6ページに掲載しています)



## チンゲンサイへの愛情と手間、チンゲンサイ料理の数々に感激!



「チンゲンサイは軟弱野菜なので葉が傷まないように優しく作業します」と志賀さん



テーブルには、志賀ちえみさんのチンゲンサイ料理がいっぱい

J Aグループ熊本が熊日新聞に掲載している「くまもとあぐりん」の取材が6月7日、産山村の志賀泰次さんのチンゲンサイ栽培ハウスで行われました。志賀さんは奥さんのちえみさんと水稲46a、チンゲンサイ30a(年6回)、繁殖牛赤牛8頭の経営をしています。

当日は読者リポーターの熊本市の古澤さん一家が訪れ、ハウスに入るなり「緑のじゅうたんみたい」とびつくりした様子で、収穫から出荷までを体験しました。チンゲンサイは軟弱野菜のため作業には根気が必要ですが、長男の佑樹くんは「袋詰めは大変なうたけど楽しかった」と、作業を進めるうちにチンゲンサイを持つ手が優しくなっていました。

体験後は、ちえみさんの手料理「チンゲンサイとエビのピリ辛煮」「チンゲンサイカレー」「チンゲンサイパフェー」「チンゲンサイの漬物」「チンゲンサイのピーナツあえ」などをみんなで試食しました。

古澤さんは「消費者の安全・安心を考え、これほど愛情と手間がかけられているなんて驚きです。チンゲンサイを見る目が変わりました」と感想を述べていました。

※志賀さん取材の「くまもとあぐりん」は、7月25日の熊日紙に掲載されています。

## ヒゴムラサキ新作料理「なっフルバイ」など7メニューを披露

南部なす部会女性部料理研究会



J A阿蘇南部なす部会女性部は6月24日、高森町特産であるヒゴムラサキを使った料理研究会を高森総合センターで開きました。ヒゴムラサキは普通のナスに比べあくやタネが少なく柔らかいのが特徴で、当日は薄くスライスして生で食べる「カルパッチョ」など多彩な7品のメニューが披露されました。

特に今回、同部会女性部会長の吉良山美津子さんが、ヒゴムラサキを使ったデザート作りに挑戦して、バイ生地(パイ生地)に炒めたナスを入れて焼き上げる「なっフルバイ」を開発しま

した。吉良山さんは「ナス嫌いの子供でも、お菓子感覚でおいしく食べることが出来ます。できれば商品化に向けて頑張りたいです」と抱負を語っていました。

この料理研究会で開発された新メニューはレシビ集にして、県内の量販店などに置かれ、ヒゴムラサキ消費拡大のPRに利用される予定です。ヒゴムラサキは部会員21人が3.3haで栽培し、年間出荷量350t見込んでいます。

(写真)ヒゴムラサキの新作料理を作った女性部の皆さん

## 阿蘇の「旬」をどうぞ!

量販店で夏野菜販売促進会

J A阿蘇南部営農センターは7月7・8日、熊本市の量販店で夏野菜の販売促進会を行いました。当日は女性部・J A職員らがトマト、ミニトマト、ヒゴムラサキの試食宣伝会を行い、消費者に自分たちが作った野菜をPRしていました。





## J A阿蘇高森町優良子牛 保留奨励品評会

高森町の南阿蘇家畜市場で7月20日、第49回高森町優良子牛保留奨励品評会が開かれ、褐色和種35頭と黒毛和種42頭の計77頭が出品され、南阿蘇畜産農協による飼育・発育状況などの審査を受けました。

審査の結果、褐色和種・若齢の部で白石吉勝さんの「はるみ」、褐色和種・壮齢の部で丸玉國廣さんの「つつじ」、黒毛和種・若齢の部で山田光士さんの「すずらん」、黒毛和種・壮齢の部で後藤末義さんの「ふくひら」がそれぞれ優等賞に輝きました。入賞の牛は9月8日の「第59回南阿蘇畜産共進会」に出品されます。



(写真は優等賞に輝いた褐色和種・壮齢の部「つつじ」と丸玉國廣さん)

## ホオズキ栽培に初挑戦



J A阿蘇南部営農センター西原地区では、本年度よりホオズキの栽培が試験的に行われています。7月5日、担当職員が出荷を前に生育調査を行い、現在の生育状況や病害虫の被害などの確認を行いました。

西原地区は平坦部に近い地域で、同じ南部営農センターの山間部に比べると夏場の気温が高く、施設野菜の生育があまり良くないことから、暑さに強く8月の盆頃まで栽培ができるホオズキを、夏場の新規作物として試験的に取り入れられているものです。現在、生産者は3人ですが、今後は面積や生産者を増やしていきたいとしています。

(写真は生育調査を行う担当職員)



## 「良質米をさらに…」

稲作部会高森支部が穂肥講習会

稲作部会高森支部は7月5日、07年産「阿蘇コシヒカリ」の穂肥診断講習会を開きました。今回の調査で、田植え直後の低温により茎数が平年よりやや少なく、その後の天候回復により生育は平年並みという結果が出ました。また幼穂長は3.5mmと平年並みで推移しています。

津留康憲稲作部会長は「昨年までは天候不順により思うような稲作生産ができなかったが、今年は天候も良く生育も良い。今後の台風被害等がなければ久しぶりに豊作になるのではないかと期待を寄せています。」

(写真は穂肥診断の説明を聞く生産者)



## 種馬鈴薯の生育順調!

野尻地区



南部営農センター管内の野尻地区で種馬鈴薯の生産量調査が7月12日、J A職員らによって行われました。同地区では種馬鈴薯栽培が10年以上前から行われており、今年度の作付面積は10haで生産者16人です。今年には植え付け後、天候にも恵まれ生育、玉の肥大ともに良好でしたが、7月に入ってから長雨で病気が心配されました。当日の生産量調査では地下部の病気などが見られ、担当職員より今後の対策について説明が行われました。9月上旬には出荷査定会が行われ、10月より鹿児島を主に出荷が予定され、今年は3300tを見込んでいます。

(写真は生産量調査を行うJ A職員)

女性部・青壮年部合同  
ライフプラン研修会

「夢を持って人生を歩もう」と、  
J A阿蘇青壮年部高森支部と同女  
性部高森支部は6月27日、J A阿  
蘇高森中央支所でライフプラン研修



ライフプランの研修を受ける青壮年部員と女性部員



を開きました。家の光協会より秋  
谷進さんを講師に迎え、秋谷さん  
は基本的なライフプランの立て方な  
どを自身の経験を交え講演しました。  
青壮年部では、この研修会に夫婦  
で参加し、講演期のライフプラン作  
成では夢や欲しい物を話し合い、家  
族のライフプラン作成を意欲的に取  
り組んでいました。夫婦で参加した  
高森支部長の三森伸治さんは「大  
変興味深い研修だった。早速、家に  
帰り、家族のライフプランを完成さ  
せたい。自分の目標や夢が明確に  
なりこれからの人生が楽しみたい  
と語っていました。」

高校生がインターンシップで  
JAの仕事を経験

産業界の知識や技術に触れ、学  
習意欲の向上を図ろうと、高森高  
校2年の三森裕太君と熊本農業高  
校2年の後藤健太郎君の2人が、7  
月4日から10日間、J A阿蘇で購  
買品の配達やスタンドでの接客など  
を体験しました。最終日の7月13  
日は高森町特産である「ヒゴムラサ  
キ」の集荷作業の手伝いを行い、  
慣れない作業にも真剣に取り組み  
ていました。



今回研修を受けた2人は「J Aの  
仕事はお客さんとの強いつながりが  
必要だと感じました。また、お客  
の立場でみれば業に感じていること  
も実際に取り組んでみると、大変  
なことがこの体験を通じて分かりま  
した」と感想を述べていました。

熊本農業高校からは他に3人が  
J A阿蘇管内で実習しました。

インターンシップとは、職業選択  
や働くことに対する適切な見方や  
考え方を育成し、地域の人々とのコ  
ミュニケーション能力の向上を図る  
ために、毎年、地域の協力により  
行われています。

写真には「ヒゴムラサキ」の検査手伝いを  
する2人の高校生。

「正確な見極めを！」

検査員技能確認会

J A阿蘇は6月22日、J A阿蘇  
一の宮中央支所で検査員技能確認会  
を行いました。これは米・麦・大  
豆等の農産物の等級を見極める確  
認会で、検査員やJ A職員など31  
人が確認会に臨みました。会場で  
は検査員たちが真剣な眼差しで農  
産物の入った皿を覗き込みながら、  
等級分けを行っていました。



# スタッフ全員がJA阿蘇の顔になろう!

## 柏SSが入賞

JAグループ石油事業表彰大会



受賞した柏SSスタッフ

06年度の実績を対象としたJAグループ石油事業表彰大会が6月14日、福岡SRPセンタービルで開かれ、柏SSが運営力強化活動部門で入賞しました。

この大会は石油事業を全体的な視点から運営改善を行い、ローコスト化、油外収益の強化、燃料油の増販などによるS・I・K指数（経営体質の強さを示す指数）の改善、パート・アルバイトの活用による効率的な人員配置、配送体制の合理化、集約化など、多くのJA-SSが現在直面している課題に着目し、運営強化に向けて実践を行ったJAに贈られるものです。

柏SSは06年度、タイヤ部門では837本を販売し585万円の供給高を計上。全国で6位の実績をあげました。また、バッテリー部門でも全国12位と、特に油外販売で実績をあげたことが評価されました。

この表彰大会は、JA全農燃料部九州事業所が主催したもので、06年度の石油事業取扱優秀SSや運営力強化活動優秀SSなど、4部門で審査され九州管内のJA-SSトップクラスを表彰したものです。

表彰式には柏SSを代表して上村統亮所長が出席。「近隣の民間SSやJA阿蘇管内SSに負けたくない。何でもいから一番になるという気持ちで、スタッフ一丸となった成果であると思う。恵まれたスタッフに感謝すると同時に、今後も少数精鋭で頑張る」と今後の意気込みを述べていました。

## 「スタッフ全員がJA阿蘇の顔になろう!」

SS接客研修会を実施

JA阿蘇では、お客様への接客と統一したサービスの提供を目的に、管内全SSスタッフを対象に6月21日、一の宮SSで営業時間終了後に研修会を開きました。研修会には各SSより所長をはじめスタッフ60人が参加しました。

まず、後藤安弘担当常務より「皆さんはJA阿蘇の最先端で働く顔である。まごころこもったサービスを提供し、JA阿蘇のイメージアップに努めてください」と、研修の主旨が説明され研修会が進められました。研修会では、昨年度JA阿蘇ドライブウェイサービスコンテストで最優秀賞を受賞した西原SSの西

村友一職員が模範演技を行い、各所長が来店者への出迎えから受注・給油・安全点検・送り出しといった一連の流れを参加者全員に一人ひとり実践指導をしました。



新入スタッフに指導する所長



表彰式の様子



柏SSの外観



# 職員相互のコミュニケーションをめざして

## 第6回JA阿蘇親善野球大会兼熊本県役員職員野球大会予選大会



初優勝した一の宮中央支所チーム

6月30日、小国町林間広場で第6回JA阿蘇親善野球大会兼熊本県役員職員野球大会予選大会が開かれ、一の宮中央支所チームが初優勝を飾りました。当初は6月23日開催予定でしたが、雨天で順延となり白水中央支所が出場できなくなり、6チーム（一の宮中央支所、阿蘇町中央支所、小国郷中央支所、久木野・西原中央支所、高森中央支所、長陽中央支所）で熱戦が繰り広げられました。

開会式では後藤安弘常務が「スポーツを通じ汗を流し、職員間の交流を図ってもらいたい」とあいさつ

しました。一の宮中央支所は前年度優勝の阿蘇町中央支所に2回戦で逆転勝ちし、小国郷中央支所との決勝戦で圧勝して優勝しました。梅雨の晴れ間の戦いとなり、優勝した一の宮中央支所は8月5日に開催されたJA熊本県親善野球大会にJA阿蘇の代表として出場しました。



開会式



選手宣誓をする阿蘇町中央支所チームの大倉選手



## JA阿蘇親善ソフトバレー大会



優勝の阿蘇町コンドー組

JA阿蘇職員の親睦と融和を図り、熊本県農協役員職員連盟主催の県大会の予選を兼ねた第4回JA阿蘇親善ソフトバレー大会が7月7日、小国ドームで開催され16チームが熱戦を繰り広げました。

試合の結果、上位4チームが9月8日、益城町で行われる県大会に出場します。試合の結果は次の通りです。

▽優勝Ⅱ阿蘇町コンドー組（阿蘇町中央支所）▽2位Ⅱジャピット（小国郷中央支所）▽3位Ⅱいちこちゃん（一の宮中央支所）▽4位ⅡBB C（南部地区混合）

熱戦の模様



選手宣誓をする場外ホームランチチームの入場選手



開会式の様子

# JA阿蘇きらり

「好きになった人がタイプ…かな!?」



蘇陽中央支所 共済係

佐竹 恵利菜(さたけ えりな)

昭和63年2月生まれ(住所=南阿蘇村)

にしているそうです。

血液型はO型。自分自身の性格には喜怒哀楽があつて、すぐ落ち込んでしまうそうです。でも、またすぐ元に戻って元気になるそうです。

中学、高校時代の部活は吹奏楽部、つまりプラスチックバンド部。佐竹さんはスウィングガールだったので。担当の楽器は、大型の低音金管楽器チューバ、そのお陰で肺活量と腕力には自信があるそうです。

好きな男性のタイプはないそうですが、「しかし、好きになった人がタイプかな」と、屈託のない素敵な笑顔が一段と輝きました。

昨年(平成18年)4月入組の佐竹恵利菜さん。自宅がある南阿蘇村(旧・白水)から愛車で通勤しています。入組以来、ずっと蘇陽中央支所の窓口で共済を担当しています。

JA阿蘇に入組して良かったことは、「若い方から年配の方まで地域の多くの方とお知り合いになれ、おしゃべりができるようになったことです」とニコリ。

日々の仕事で心がけていることは「笑顔で接すること」だそうです。そして仕事のことでは分からないことがあれば、上司や先輩に自分で分かるまで何回も尋ねるよう

## 「永い間、お疲れ様でした」

退職者表彰を行う

平成18年度末で定年退職された3人の退職者表彰式が、平成19年6月7日、本所で行われました。丸山信義組合長から退職者お一人お一人に賞状と記念品が授与され、水きにわたり農協職員として組合運営に献身された功績をたたえ労をねぎらいました。

水い間、本当にお疲れ様でした。



## 表紙写真 「ブルーベリー」説明

今や「ブルーベリー」といえば、旧蘇陽地区の代名詞であり、農産物のシンボルともなっています。最近では、ブルーベリーが眼精疲労に効くことが証明され、一段と人気が高まっています。旧蘇陽町でこのブルーベリー栽培が始まったのは昭和57年7月。当初はブルーベリーに対する関心も知名度も低く、生産や販売不振が続きました。しかし、生産者・町・農協が一体となり加工品の開発や各種イベントの開催などPR活動を積極的に推し進め、「蘇陽=ブルーベリー」というイメージの定義ができました。現在では年間約50tが集荷されています。



## 理事会・監事会報告

### ■平成19年度第4回理事会

日時 平成19年6月26日 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項  
委員会報告(債権管理委員会・経済専門委員会)  
5月末実績報告
  - 1) 貸出金について
  - 2) 平成19年度産米出荷契約金の仮渡金及び大麦仮渡金について
  - 3) 一の宮畜場経営方針について
  - 4) 平成19年度職員初任給改定(案)について
  - 5) 平成20年度職員採用について
  - 6) 職員夏季賞与支給について
  - 7) 非常勤理事研修会の開催について

### ■平成19年度第5回理事会

日時 平成19年7月30日 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項  
委員会報告(経済専門委員会)  
6月末実績報告
  - 1) 平成18年度決算監事監査回答書(案)について

- 2) 貸出金について
  - 3) 役員賠償保険について
  - 4) 平成17年度産米精算について
- 報告事項 JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- 報告事項 平成18年度固定資産取得報告について
- 報告事項 第6回通常総代会出席状況について
- 報告事項 平成20年度職員募集要領について
- 報告事項 平成19年度米出荷契約数量について
- 報告事項 平成18年度各事業所毎損益報告について
- 報告事項 久木野SS計画変更について
- 報告事項 平成19年度米麦等欄卸監査実施について
- 報告事項 ディスクロージャー誌開示について

### ●平成19年度第4回監事会

日時 平成19年7月13日

場所 本所会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題
  - 1) 平成18年度決算監事監査回答書について
  - 2) JA非常勤監事研修会出席について
  - 3) 監事視察研修会実施について
  - 4) 平成19年度米麦等欄卸監事監査実施(案)について
  - 5) その他
- 4.閉会

## 平成20年度JA阿蘇職員募集

### 1.申込書類受付期間

○高卒(平成20年3月卒業見込み):学校を通じて申し込みして下さい。

平成19年9月5日から平成19年9月10日

○高卒(既卒)、短大卒、大学卒:直接JA阿蘇本所に申し込みして下さい。

平成19年8月20日から平成19年9月10日

### 2.試験日

(一次試験)平成19年9月19日(水)

### 3.募集要領の配布

本所総務部総務人事課及び各中央支所で配布します。

### お問い合わせ先

阿蘇農業協同組合  
総務部

総務人事課 藤原、時松

電話

0967-22-6111



Dr. やまさん

お知恵拝借

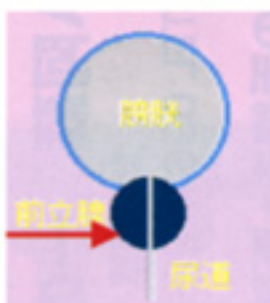
## 前立腺がんの検査法

PSA検査 (前立腺特異抗原検査)



## 前立腺とは？

前立腺は男性だけにある臓器で、膀胱の下にあり、尿道を取り囲んでいます。  
また、一部が直腸に接しているため、直腸の壁越しに指で触れることができます。  
大きさはちょうど栗の实くらいで、形も栗によく似ています。



## 前立腺がんとは？

前立腺がんは、前立腺肥大症とともに、中高年の男性において注意すべき病気のひとつです。  
前立腺がんは、ほかの臓器のがんとは異なり、ゆっくりと進行するため、早期に見えれば、治療しやすいがんであるといえます。  
しかし、初期には自覚症状がほとんどないため、発見が遅れることがあります。進行すると最終的には骨やほかの臓器にまで転移することがあるため、早期に見出し、適切な治療を行うことが大事になります。

## 悩める男性へ

前立腺がんの早期発見に優れた検査法

40歳を過ぎたら  
年に1度はPSA検査を

PSAとは、「前立腺特異的抗原」の英語の頭文字を取ったもので、普段は前立腺の外に出ることのないタンパク質のことです。しかし、がんの発生などにより、細胞組織の構造が崩壊すると、PSAが血管の中に漏れだします。

漏れだしたPSAを、少量の血液で敏感にとらえることのできる検査方法をPSA検査といいます。

## PSA検査はどこで受けられますか？

PSA検査は、市町村における住民健診、職場での健診、あるいは、医療機関・人間ドックなどで受けられます。  
検査メニューにPSA検査が見当たらない場合は、受診時に尋ねてみてください。



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

TEL096 (328) 1250 FAX096 (328) 1258

# JA年金相談会

複雑な年金手続きのお手伝いをいたします

## 無料

知らないと損をする！年金あれこれ  
どんなことでもお気軽にご相談下さい。



日時

平成19年8月26日(日)  
午前10時▶午後4時

場所

JA阿蘇 一の宮中央支所

大会議室

TEL 0967-22-1321

JAでは、年金の手続きを専門家(社会保険労務士)  
にお願いして、皆様のお手伝いをさせて頂いています。

初めて手続きなさる方、現在受給中の年金に疑問を

お持ちの方、お気軽にご来場下さい!!

その際、**年金手帳・年金証書・認印**をお持ちいた  
だくと便利です。

ご存じですか？

- 新規の受給手続き
- 近くご退職予定の方、  
60歳・65歳になる方
- 在職中に受ける年金
- もらい忘れ年金
- 年金と雇用保険など

## 年金



電話にて相談のご予約を  
承ります。

(受付時間:平日の9:00~15:00)



当JAでお取引がない方も大歓迎!

阿蘇農業協同組合

一の宮中央支所 TEL 0967-22-1321